

高位脛骨骨切り術 (HTO; high tibial osteotomy) 後の組織形態変化とリハビリテーション経過の関連についての検討

2016 年から 2024 年までに変形性膝関節症のために高位脛骨骨切り術を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「高位脛骨骨切り術 (HTO; high tibial osteotomy) 後の組織形態変化とリハビリテーション経過に関する研究」という研究を行います。この研究は、2016 年 6 月 1 日より 2024 年 6 月 1 日までに東京労災病院整形外科にて、変形性膝関節症のために高位脛骨骨切り術を受けられた患者さんのリハビリテーション経過を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：高位脛骨骨切り術 (HTO; high tibial osteotomy) 後の組織形態変化とリハビリテーション経過の関連についての検討

研究期間：2025 年 4 月 1 日～2027 年 9 月 1 日

研究責任者：東京労災病院 中央リハビリテーション部 大宮 博之

(2) 研究の意義、目的について。

HTO は膝の機能を改善する手術です。術後の回復には個人差があり、その要因は十分にわかっていません。リハビリの質を高めるためには、その関連を明らかにすることが重要です。HTO 後の組織の変化と筋力や歩行能力の回復との関係を明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について (研究に用いる試料・情報の種類)

2016 年 6 月 1 日より 2024 年 6 月 1 日までに東京労災病院整形外科にて、高位脛骨骨切り術を受けられた患者さんの放射線画像 (レントゲン画像や MRI 画像) やリハビリテーションの経過などを解析し、組織形態とリハビリテーションの経過についての検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、既往歴、レントゲン画像、MRI 画像、リハビリテーション経過 等

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

東京労災病院 中央リハビリテーション部 大宮 博之

〒143-0013 東京都大田区大森南 4-13-21

電話番号：03-3742-7301 (代表) 内線：3421

メールアドレス：ardi.jajardi.ja@yahoo.co.jp